

携帯で動くアプリ開発

担当者: 濱口毅

実験室: IB電子情報館南棟2 階295 号室

実験概要:

コンピュータは身近な機器にも使われており、携帯電話はパソコンに匹敵する高度な情報処理が可能です。本テーマでは携帯電話で動くアプリケーションの作成を通じて、ソフトウェア開発を体験してもらいます。本テーマでは以下のことを行います。

1. 携帯アプリ開発ツールの使い方を学ぶ
2. Java によるプログラミングを学ぶ
3. 携帯アプリの作成と実行

1 はじめに

コンピュータはパソコンのほか、携帯電話、家電機器、ゲーム機、自動車など我々の身の回りに多くの機器に組み込まれています。これらのコンピュータは実にさまざまな複雑な仕事をしています。コンピュータはなぜこのようにさまざまな処理ができるのでしょうか？ それはコンピュータに対する仕事の指示はプログラムによって与えられており、このプログラムを変えることで処理内容を変えることができるからです。

パソコンは使用するアプリケーションソフトウェア(略してアプリといいます)と呼ばれるプログラムを入替えることで、仕事に使ったり、遊びに使ったり、コミュニケーションに使ったり、いろいろな目的に使用できます。コンピュータはプログラムに書かれていることしかできませんが、プログラムを自分で作ることができればやりたい処理をさせることができます。複雑なプログラムを作れるようになれば、コンピュータを思い通りに動かすことも可能です。

携帯電話に組み込まれているコンピュータもユーザがアプリを与えることで、いろいろな処理ができるようになります。本テーマでは、携帯電話で動くプログラムの作成を通じて、コンピュータを自分の指示どおりに動かすことを体験してもらいます。